

令和 2 年度総合教育会議資料

特別支援教育の現状と課題について

～特別支援学校の教育環境の整備について～

令和 2 年 11 月 12 日
沖縄県教育委員会

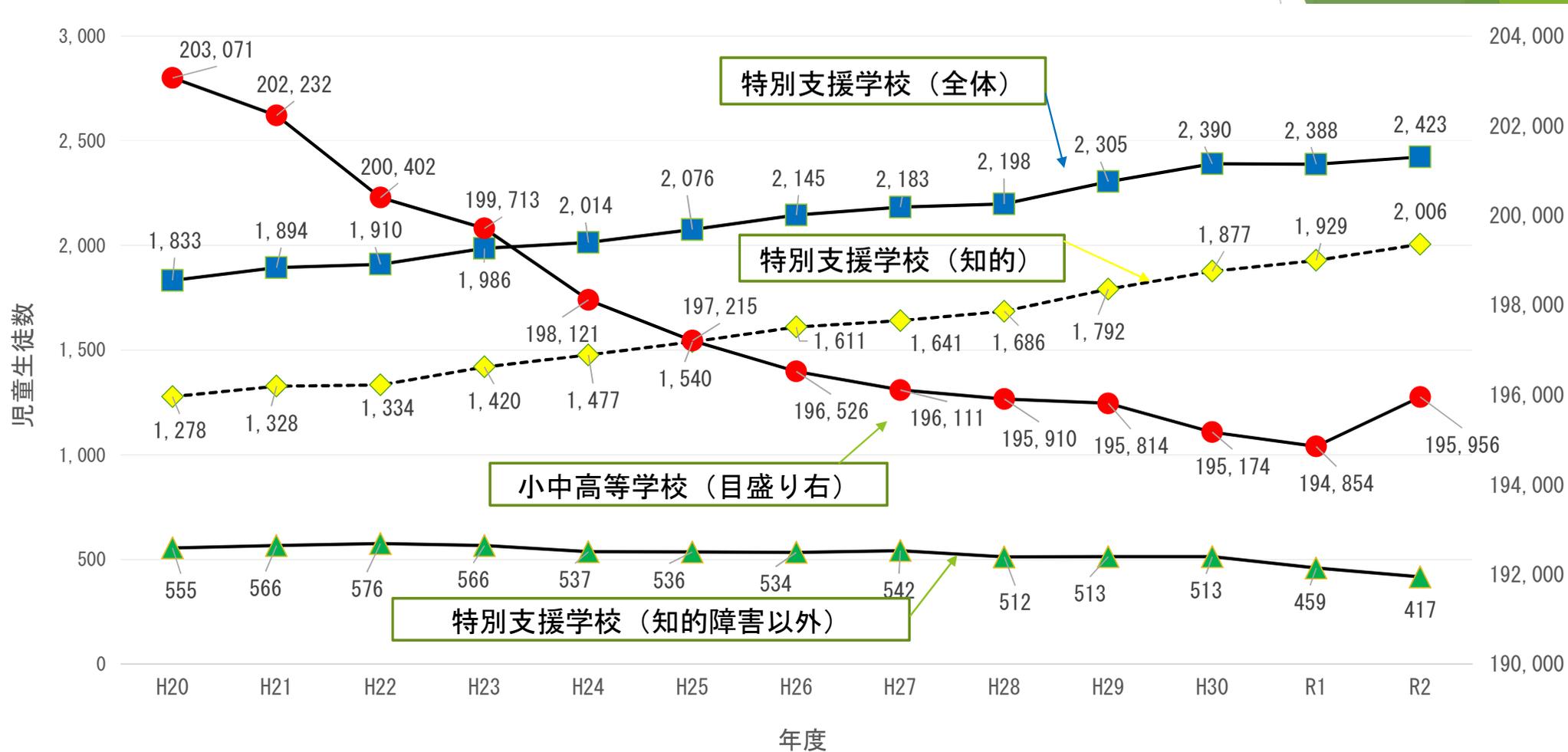
沖縄県の特別支援学校の現状と課題

1 現状①：県立特別支援学校の設置状況

障害種別学校（21校）	学校名
視覚障害特別支援学校（1校）	沖縄盲学校
聴覚障害特別支援学校（1校）	沖縄ろう学校
知的障害特別支援学校（単独校種4校）	美咲特支、 <u>はなさき分校</u> 、大平特支、西崎特支
肢体不自由特別支援学校（単独校種3校）	泡瀬特支、那覇特支、鏡が丘特支 <u>浦添分校</u>
病弱特別支援学校（単独校種1校）	森川特支
知的・肢体不自由特別支援学校（1校）	島尻特支
肢体・病弱特別支援学校（2校）	桜野特支、鏡が丘特支
視・聴・知・肢・病弱特別支援学校（3校）	名護特支、宮古特支、八重山特支
軽度知的障害特別支援学校（5校） ※高校併設型特別支援学校	沖縄高等特支、中部農林高支、陽明高支、南風原高支 やえせ高支

沖縄県の特別支援学校の現状と課題

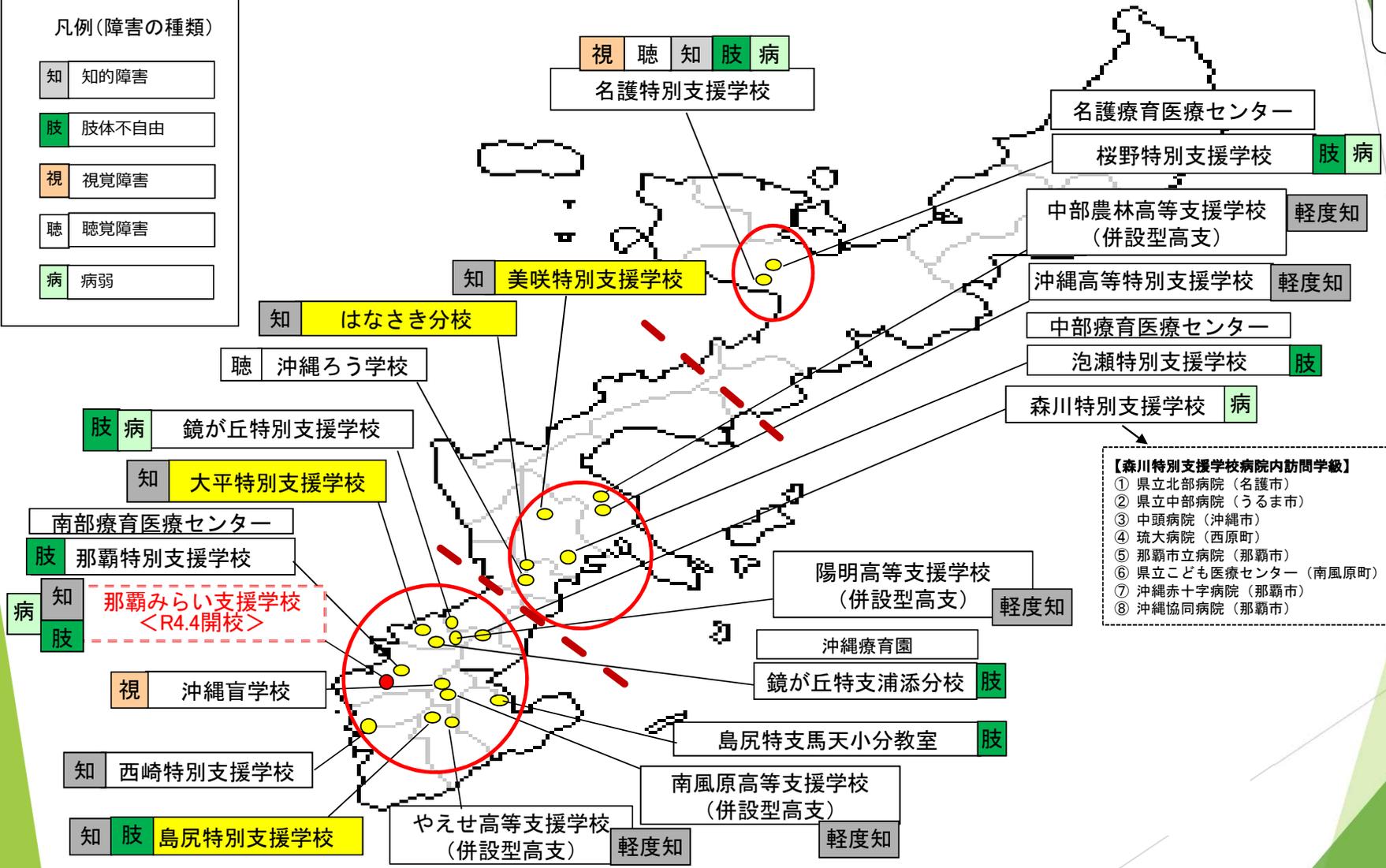
1 現状② 本県の小・中・高等学校と特別支援学校の児童生徒数



参考：沖縄県の特別支援学校設置図

凡例(障害の種類)

知	知的障害
肢	肢体不自由
視	視覚障害
聴	聴覚障害
病	病弱



軽度知
久米島高等学校
分教室 (大平特支)



視 聴 知 肢 病
宮古特別支援学校



視 聴 知 肢 病
八重山
特別支援学校



沖縄県の特別支援学校の現状と課題

2. 課題（那覇南部地区）

■ 過密化対象校（知的障害校）

- ・ 大平特別支援学校
- ・ 島尻特別支援学校

校名	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大平特支		310	294	296	288	275	278	286	306	325	341
島尻特支		183	215	246	286	297	295	307	321	338	350
計		493	509	542	574	572	573	593	627	663	691

■ 編成整備計画においては、245人以内を適正規模としている。

■ 那覇南部地区の児童生徒増加率
H23 → R2 : 40%



沖縄県の特別支援学校の現状と課題

これまでの過密化への対応

- ◆ 特別教室等を利用した普通教室への転用や、間仕切教室の設置
- ◆ 敷地内における新たな教室設置

現在の対応

- ◆ 那覇南部地区特別支援学校の過密解消、市外特別支援学校への通学負担軽減を目的に、那覇市古波蔵に那覇みらい支援学校を設置



**250名程度の規模、知的障害、
肢体不自由、病弱教育部門を設置**

校舎イメージ



令和4年4月開校

沖縄県の特別支援学校の現状と課題

2. 課題（中部地区）

■ 過密化対象校（知的障害校）

- ・ 美咲特別支援学校
- ・ はなさき分校

※「はなさき分校」は美咲特支の過密解消を目的に、平成26年度に開校

校名	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
美咲特支		348	365	371	311	313	325	352	357	365	375
はなさき分校					88	100	118	139	143	134	152
計		348	365	371	399	413	443	491	500	499	527

■ 編成整備計画においては、美咲特支は245人以内を適正規模としている。

■ 中部地区の児童生徒増加率

H23 → R2 : 51% (179人増)



■ 特別支援学校 1校分にあたる児童生徒数の増加



沖縄県の特別支援学校の現状と課題

これまでの過密化への対応

- ベランダや特別教室の改装、敷地内での新たな教室の設置
- 複数の学級をまとめて一つの学級として設置



現状

- ・ 生徒の急増
- ・ 学習環境の変化
- ・ 教室確保の限界

課題

- ・ 学校の過密化
- ・ 教育環境の確保

今後の対応

- 中部地区における特別支援学校の現状と課題を踏まえ、緊急的、抜本的な解決策が必要。